

令和7年度 高須地区福祉活動計画 評価表

スローガン	地域の交流を促すために、地域の輪を広げる
-------	----------------------

重点課題	地域のふれあいの活動の機会を逃さず、活動につなげる
------	---------------------------

ブロック活動	推進方法	評価
Aブロック	「地域あいさつ運動」を各自治会において「交通安全街頭啓発巡視」に合わせて実施し、あいさつや見守りの声掛けを通して住民同士のコミュニケーションを図る。	△
Bブロック	自治会長・福祉推進委員・民生児童児童委員・他福祉関係の役員の連携協力を強化する。	○
Cブロック	自治会長や福祉関係の役員の連携協力を強化する。困りごとを把握し、小さな助け合いにつなげる。心ある人の結集を図り、具体的事例を共有し支援する。	○
Dブロック	自治会長・福祉推進委員・民生委員児童委員・他福祉関係の役員の連携協力を強化する。	△
Eブロック	世代間交流のほか、ブロックの課題を見つけて活動につなげる。地域が広く、転入者も多いので、横のつながりを通して地域の温度差を無くしていく。	△

現状及び今後の方針	
Aブロック 地域あいさつ運動 地域福祉懇談会 ハイキング大会	○地域あいさつ運動（原則として月1回）（10回開催） ・のぼり旗を掲げて、朝の登校時のあいさつと見守り活動を月1回行った。自治会に呼びかけて、活動の輪を広げようとしたが、十分な協力は得られなかった。 ○世代間ふれあい交流～ハイキング大会～ ・慎重にハイキングコースを選定した。（Bプラン・11月9日 砂防会館の見学）残念ながら、参加者が少なく、思うような交流会にならなかった。 ○地域福祉懇談会を2月7日に実施して、地域の現状と問題点と課題について話し合った。
Bブロック あいさつ運動 地域福祉懇談会	○あいさつ運動（7月1日～30日、12月1日～19日） のぼり旗を地域内に掲げて、住民に周知するとともに、あいさつすること（声掛け）を意識づける。 クロスプラス交差点であいさつ運動（7月15日・12月15日） ○世代間交流事業は実施できなかった。 ○福祉懇談会を11月8日に行い、地域の現状と問題点と課題について話し合った。
Cブロック あいさつ運動 世代間交流事業 福祉懇談会	○親子で地区内ピッカピカとゲーム（2月22日に実施） ・世代間交流をめざして、ゲーム大会や体操を行った。多くのゲームを用意した。参加者は楽しむことができた。実行委員会は3回実施。 ○あいさつ運動は各自治会で実施、地区社協の期間に合わせて行った。（7月1日～7月15日・12月1日～12月15日・2月22日） ○懇談会は2/22の世代間交流事業の日に行った。特別に日を設けることはなかった。

Dブロック あいさつ運動 世代間交流事業 福祉懇談会	○あいさつ運動（7月1日～7月15日）（9月1日～12月31日）（12月1日～12月15日）（12月15日～12月26日） あいさつ運動期間と地区社協の運動期間に実施した。今年は学校付近での活動が多かった。 ○世代間交流事業 朝のラジオ体操を7月28日～8月1日の5日間実施、参加者は延べ230名であった。6月15日・7月19日に自治会長10名が集まり、実施について打合せ会を開催。 ○懇談会は残念ながら、次年度に持ち越しにした。	
Eブロック あいさつ運動 世代間交流事業 福祉懇談会	○あいさつ運動（7月1日～7月15日）（12月1日～12月15日） 地区社協の実施に伴い行った。各自治会に実施方法は委ねた通学路や集会所付近で実施。（7月の運動期間はのぼり旗のみ） ○世代間交流事業 8月17日に平原公園でラジオ体操を実施。多くの参加者があった。 ○地区懇談会は各事業打合せ時に行い、3月15日に実施。 ○「Eブロックだより」を発行した。	
高須地区社協として	ブロック活動と部会活動を合わせて概ね実施できた。	○

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和7年度 高須地区福祉活動計画 評価表

スローガン		地域の交流を促すために、地域の輪を広げる
重点課題	海津小学校の活動を見据えて、高須地区としての問題や課題を見つけ出し、活動につなげる。	
部会活動	推進方法	評価
総務部会	民生委員児童委員、福祉推進委員、自治会長に対しての学習会（広報を兼ねる）	○
防犯防災部会	①避難訓練の働きかけ、行政の方針との整合性を確認し、各自治会の防災組織の実効性も確認、各地域の防災マップの整備などを行う。 ②危険箇所マップ作成。防犯パトロール。高齢者および子ども中心の防犯教育。 ③情報セキュリティ など参考情報の配布、講演会の実施。	○
生活支援部会	①ちょぼら部との協力 ②広域サロンの開催、他団体との連携や協力 ③他の関連団体との連携	○
イベント交流部会	地域のイベントとの協力や共催の方法を研究する。（主催者・費用・方法など）	○
ちょぼら部会	買い物支援に対しては、市社協の協力（車など）を得て実施してみる。 実施方法として①利用者登録、②出来る事の内容など	○
現状及び今後の方針		
総務部会 あいさつ運動 研修会の開催 小さな助け合い運動 問題点の見直し	・組織、規約の問題点は常に検討。（表彰規程を作成） ・あいさつ運動強調週間を設けて、7月と12月に実施。（啓発用ハガキを送付） ・小さな親切運動は5件ほど表彰する予定。 ・役員の視察研修（2月27日に城山地区社協と研修交流会を実施。）	
防犯防災部会 防災活動 防犯活動 交通安全への取り組み	・避難者カードを部内で作成した。 ・自主防災組織の実態調査。高須地区内で19自治会が組織有り。活動は6年間で6自治会で実施。 ・10月25日「防災セミナー」自治会と合同で実施（講師：海津市危機管理室） ・防犯活動としては、「防犯カメラ」の設置について検討。海津警察署から詐欺や交通安全などの寸劇は次年度実施予定。 ・交通安全への「課題の整理・啓発活動」の検討。海津警察署から交通安全などの講話は次年度実施予定。	

生活支援部会 コーディネーター会議 部会会議 広域サロン 子育て支援	①部会会議やコーディネーター会議は13回行った。内容だけでなく部会員同士の協力が出来た。 ②「お達者ですかい」を11月22日に、広域サロン（おしゃべりサロン）を3月21日に、イベント部会と合同で実施した。 ③子育て支援活動に関しては、会議で話し合いはできたが、残念ながら実施は、出来なかった。	
イベント交流部会 お達者です会の開催 広域サロンの実施研究 伝統文化の研究	・「お達者ですかい」を11月22日にひまわりで実施。75名の参加者で講話や、お食事会、お楽しみ会を実施した。 ・3月21日にひまわりの談話室で広域サロンを開催、特殊詐欺の寸劇や、お楽しみゲーム、お喋り会を実施楽しい半日を過ごした。 ・伝統文化に関しては、実施出来ませんでした。海津の祭り等を研究する事もいいと思った。	
ちょボラ部会 役員会・部会会議の開催 他団体との合同会議 ちょボラ活動の実施（買い物支援）	・役員会や部会会議を延べ10回開催し、活動の方法や買い物支援に対して打合せを行った。 ・買い物支援サービスは、10回開催、延べ83名の方を支援しました。 帰り道に休憩を挟んだり、花見をしたり、参加者に喜んでいただいた。また、運転する方の安全運転講習は4/24日に実施した。 ・ちょボラ活動は、ゴミ出し・照明器具の取り換え・ちょっと修繕・庭木の選定・片付け・買い物代行・薬の受取など合計5回の活動を行った。 ・代議員との合同会議は3回開催。新しいニーズや、各事業に対しての会議を実施した。	
高須地区社協として	ブロック活動と部会活動を合わせて概ね実施できた。	○

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった